

# 横浜市水と緑の基本計画の改定について <答申の概要>

## 序章 横浜市水と緑の基本計画について/第1章 横浜の水と緑の特徴

- 水と緑の基本計画  
水と緑をまもり、つくり、育てるために、流域単位で取組をまとめるなど、水と緑を一体的にとらえた総合的な計画
- 計画の位置付け
  - ・横浜市基本構想（長期ビジョン）を深度化
  - ・横浜市環境管理計画や横浜市都市計画マスタープランと整合
  - ・都市緑地法第4条に規定する「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」
  - ・水循環基本計画、横浜市下水道中期経営計画、生物多様性横浜行動計画等と関連
- 目標年次 横浜市基本構想（長期ビジョン）の目標年次である2025（平成37）年

## 第2章 横浜の水と緑の課題と今後の方向性

改定にあたっては、「これまでの取組の成果をふまえた課題」と「変化する社会状況と課題」から、今後の方向性を検討

### 1 横浜の魅力を高める水・緑環境の保全・創出・育成

- ・保全・創出に向けた取組の継続
- ・ストックされた環境の維持管理と質の向上の推進
- ・水と緑による都市の骨格形成
- ・都心臨海部の魅力を高める取組の推進
- ・防災・減災に向けた取組の推進 など

### 2 水・緑とともにある多様なライフスタイルの実現

- ・シニア層など多様な世代の市民が活躍できる取組や場づくり
- ・水と緑を通じたコミュニティの形成や活性化
- ・活動団体同士の連携の推進
- ・全国都市緑化よこはまフェアの開催を契機とした市民の関わりへの深化 など

## 第3章 計画の目標

基本理念
横浜らしい水・緑環境の実現 ～市民・事業者・行政の連携・協働により実現します～
目標像
<b>多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境</b>  《都市の姿》 <ul style="list-style-type: none"><li>・緑が市街地に引き込まれています</li><li>・健全な水循環が回復しています</li><li>・地域の中で農のある暮らしが息づいています</li><li>・都心臨海部に水と緑が増え魅力が高まっています</li><li>・多様な生き物が生育・生息できる環境が形成されています</li><li>・風が都市に引き込まれています</li></ul> 《市民の姿》 <ul style="list-style-type: none"><li>・水や緑との様々な関わりが深まっています</li></ul>

## 第4章 水・緑環境の保全と創造の推進計画

### 推進計画1 流域ごとの水・緑環境をつくり高める

#### ● 流域単位の推進計画を展開する意義

水循環基本法も制定され、流域単位で推進計画を展開する重要性が高まっていることをふまえ、取組を推進。

#### ● 流域でとらえた水・緑環境の保全と創出の方針

- ・樹林地や農地の保全などによる健全な水循環の回復
- ・雨水浸透ます、雨水貯留タンクなどの設置の促進
- ・河川改修や下水道整備など治水対策の推進
- ・浸水ハザードマップなどを活用による自助・共助の推進
- ・水環境目標の設定と管理
- ・地下水汚染未然防止対策
- ・下水処理の高度処理化、合流式下水道の改善
- ・海域での藻場の再生や育成
- ・水や緑のネットワーク化と健康づくりの場としての活用
- ・水辺空間の維持管理の推進、計画的なマネジメント

#### ● 流域ごとの推進計画

市内の8流域ごとの特性や「源・上流部」「中流部」「下流部」の環境に応じ、流域の「量」「質」「魅力」の観点から水と緑の回廊像を策定。

### 推進計画2 拠点となる水と緑、特徴ある水と緑をまもり・つくり・育てる

#### ● 緑の10大拠点の水と緑をまもり・育てる

河川の源・上・中流域にあるまとまりのある樹林地や農地、湧水や水辺などを「緑の10大拠点」として位置づけ、優先的に保全・活用。

#### ● 市街地をのぞむ丘の軸の水と緑をまもり・育てる

郊外部と都心臨海部周辺との間の丘陵地にある公園や樹林地、農地と、丘陵の縁にある斜面緑地、これらを「市街地をのぞむ丘の軸」として位置づけ、緑地の保全や水・緑環境の整備を促進。

#### ● 海をのぞむ丘の軸の水と緑をまもり、海と人とのふれあい拠点をつくり・育てる

旧海岸線沿いに連なる丘陵地の緑の軸を「海をのぞむ丘の軸」として位置づけ、水・緑環境の保全・創出を推進。「海と人とのふれあい拠点」では、海を身近に感じる空間を整備・活用。

#### ● 水と緑により都心臨海部の魅力づくりをすすめる

都市臨海部で豊かな水・緑環境の創出・充実を進めることで魅力ある街並みを形成するとともに、賑わいが創出されるよう、市民や事業者と連携し活用を推進。

#### ● 農によるまちの魅力づくりをすすめる

市内農畜産物の生産振興や農を支える担い手の支援、農地の利用促進、農景観の保全を進めます。また農に親しむ取組や地産地消の取組を推進。

#### ● 里山景観の保全をすすめる

樹林地や農地などの一体的な保全・活用を図り、里山景観の保全・活用を推進。

#### ● 緑豊かな市街地を形成する

緑豊かな市街地の形成に向け、土地利用転換などの機会をとらえた緑化の推進や、公園の整備、街路樹の良好な育成など、市民に身近な緑の保全・創出を推進。

### 推進計画3 水と緑の環境を市民とともにつくり・育て・楽しむ

#### ● 水・緑環境に関わるきっかけづくり

- ・様々な機会をとらえ、水や緑に関する取組の紹介やイベントの開催などを推進。
- ・市民、NPO、事業者などが参画しながら、古民家や西洋館などの利活用を促進。
- ・全国都市緑化よこはまフェアの開催。

#### ● 楽しみ、親しむ場の充実

- ・地場農畜産物の生産振興や直売の推進などによる、地産地消の促進と農地と農業が身近にあることをいかした楽しみの創出。
- ・シニア層をはじめ、多様な世代の市民が知識や能力をいかし、地域での活動につながるよう環境づくりを推進。
- ・福祉施策などと連携し、水や緑を健康づくりの場として活用。

#### ● 活動を担う人・団体を育てる

- ・活動に取り組むボランティアの裾野を拡大。
- ・水や緑を支えるボランティアや活動団体の活動を支援。
- ・市民やNPO、事業者との協働による地域ぐるみの緑の活動を推進。

#### ● 活動の輪を広げる

- ・地域や流域に活動が広がるよう市民活動を推進
- ・様々な活動団体同士の連携や交流を推進。